# 八雲町郷土資料館農機類標本台帳

| | |
|---|---|
| 一般名称: 唐箕 | 現地の通称: |

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
☒ 人力用具 ☒ 手押式 ☐ 耕耘用 ☒ 調製用
☐ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
☐ 原動機具 ☐ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.
台帳No. Y153
相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 不明: 銘板の文字が見えない
製造市・国名
製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

唐箕（とうみ）は、起風胴と起風翼とを主要部とし，これに漏斗・風路・仕切坂などがついている穀物風選用の在来農具。
大部分は木製で，ハソドルを回わし，起風翼で風を起こして風路に送り，ここで漏斗から落下する穀物を精籾・枇(しいな)・藁屑に区分、または良玄米・屑米・ロ(ふ、籾殻の意)などに仕分ける。元禄年間（1700年頃）に中国から伝来して普及し，今日でも雑穀類用として広く利用されているが，脱穀機や籾摺機の中に組入れられている場合が多い。唐箕の発明は、中国ＢＣ100年ほどの古代のことであり、これがシルクロードを通って西洋に伝わり、篩のついた西洋唐箕となった

利用経過収集記録意義等

利用経過未調査

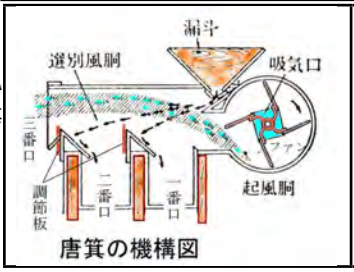
仕様書_解説等

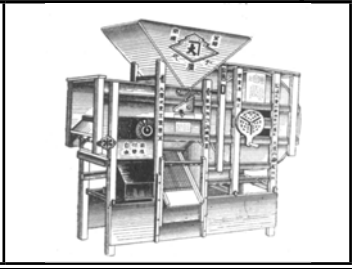
大きさは、一般的に全長1.5m、全幅60cm、全高1.2m内外。

右に全体図

関連図 1:唐箕の機構図
2-3:唐箕の選別作業
4:中国の漢墓からの出土品

外観特色関連図等





資料の所在: 公開展示室

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文



農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編